

【横文字 小方可奈江】

はじめに

こんにちは。前回、輸液スピードの話をも M 情報に書かせていただきましたが、“大学のレポートみたいで難しい!!”というコメントを頂いたので、今度は一般生活に馴染みのない、よく獣医師が使う横文字をまとめて解説しようと思います。最後までお付き合いいただければ幸いです。

横文字集

① ボーラス投与

“bolus”とは英語で“かたまり”を意味し、短時間で薬物を投与することを意味します。

② リンゲル

言葉の由来はイギリスの生理学者である

“シドニー・リンガー”

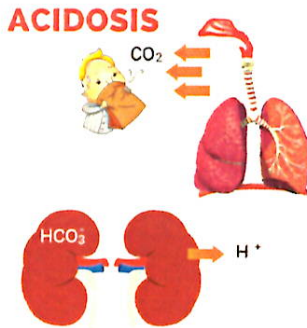
です。1882年に彼がリンガー液(リンゲル液)を作りました。

リンゲル液とは、生理食塩水よりもさらに血漿成分に類似したものであり、ヒトや小動物の医療で最も汎用されている輸液剤です。

カエルから摘出した心臓に生理食塩水を循環させて心臓の機能をリサーチする実験で、このとき偶然にも蒸留水に水道水が混入していて、心臓が力強く4時間以上も動き続けたそうです。このとき作られた、当時においては“未知の溶液”がリンゲル液であり、このあと心臓のメカニズムが解明されていったそうです。

③ アシドーシス

生体内に pH を低下(酸性)させる異常なプロセスが存在する“病態”のことです。これは、呼吸がうまくできず、酸性物質である CO_2 が身体の中から出ていかないと、下痢などでアルカリ物質



が身体から出て行ってしまうとき等があります。実際によく現場で出会う症例としては以下があります。

- a. 子牛の下痢
- b. 親牛のケトosis

ケトン体は酸であるため、蓄積によって、体内の pH が酸性に傾いた状態。ケトアシドーシスと言います。これは、高血糖で、糖をエネルギーとして利用できていない、いわゆる脂肪肝の状態が多いです。

④ インスリン

膵臓が出すホルモンです。血液中にブドウ糖が多くなる(高血糖)と、インスリンが出ます。インスリンが出ると、肝臓や筋肉でブドウ糖は形を変えて蓄えられます。

こうすることによって血液中のブドウ糖が減り、血糖値が下がります。上記のケトアシドーシスでも記しましたが、過肥牛(脂肪肝)では、このインスリンへの感受性が下がってしまうので、高血糖状態になります。

⑤ キシリット

キシリトールのことです。人ではよくガムに含まれる成分ですね。虫歯を予防すると言われていいます。人工甘味料であり、糖類となります。ブドウ糖との違いは、インスリンに関係なくエネルギーとして利用されること、また、主に肝臓で代謝され、血糖値がほとんど上昇しないこと、等があります。



さいごに

ぱっと思いついた横文字を紹介させていただきました。今まで、誰が読んでもわかる情報を発信するという機会が少なかったため、その難しさを感じています。こういう情報がほしい、または、これはいらない。そして、この書き方はよくない、こうしてほしい、等あれば何でも教示していただければ幸いです。よろしくお願いたします。

小方可奈江



Total Herd Management Service